

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15023

地方道整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
取組方針	1	道路の新設・改良の促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	道路建設課	林 尚久	435-1087
事業実施の根拠法令	道路法、道路構造令		関連課	用地課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	道路利用者が安全・安心に通行できる道路整備		生活道路において、安心・安全な道路環境を確保するため、道路の新設・改良を行う。(測量設計業務、用地買収、物件補償、道路改良工事他)			
事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	市駅湊線、魁橋、市駅和佐線、坂田磯の浦線、南港山東線アクセス道路、紀伊149号線、西和佐9号線ほか、砂山コミュニティ道路、市駅前広場整備事業、市道中橋線、外19路線	市駅湊線、魁橋、市駅和佐線、坂田磯の浦線、南港山東線アクセス道路、紀伊149号線、西和佐9号線ほか、外13路線	市駅湊線、市駅和佐線、坂田磯の浦線、大谷地内線、出水加納線、貴志4号線、西和佐9号線ほか、宮前177号線ほか、外15路線	市駅湊線、坂田磯の浦線、青少年国際交流センターアクセス道路、道の駅「四季の郷公園」アクセス道路、市駅小倉線(吉田交差点)、和歌浦口雑賀崎線、外16路線		

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,667,877	2,201,191	1,200,953	1,941,534	1,226,907	1,798,340	903,385	0	903,385	0
伸び率(%)	△25.4%	△33.1%	△28%	△11.8%	2.2%	△7.4%	△26.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	132,568	127,392	118,140	116,743	124,675	121,759	111,438	0	0
	正規職員以外	0	257	510	86	719	1,797	616	0	0
	小計	132,568	127,649	118,650	116,829	125,394	123,556	112,054	0	0
国庫支出金	713,910	1,126,376	632,270	951,733	556,484	917,399	441,515	0	0	0
県支出金	0	972	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	841,800	1,061,000	557,700	872,100	663,300	808,600	436,500	0	0	0
その他	0	3,168	0	9,026	0	144	0	0	0	0
一般財源(税等)	112,167	9,675	10,983	108,675	7,123	72,197	25,370	0	903,385	0
所要人数(人)	正規職員	16.65	16.00	15.23	15.05	16.67	16.28	14.90	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.08	0.12	0.02	0.14	0.35	0.12	0.00	0.00
主な予算内訳	工事請負費：1,527,101千円、土地購入費：18,500千円、建物移転補償費：5,000千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
事業進捗状況(測量等委託、用地買収、工事等)	千円	目標値	3,051,153	2,459,447	2,337,266	1,610,219	903,385
		実績値	2,201,191	1,941,534	1,798,340		
		達成度(%)	72.1%	78.9%	76.9%	%	%
事業進捗状況(測量等委託、用地買収、工事等)	千円	目標値	3,051,153	2,459,447	2,337,266	1,610,219	903,385
		実績値	2,201,191	1,941,534	1,798,340		
		達成度(%)	72.1%	78.9%	76.9%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	生活道路において、安全で快適な道路環境の整備の推進を図れているか。
見直し・改善内容	早期完成に向け、更に効果的な整備計画を策定し、事業推捗を図る。